



自然災害とは、異常気象などの自然発生する現象により、人や社会に被害を与える災害のことで、「天災」と呼ばれることもあります。「台風」「豪雨」「洪水」「土砂災害」「地震」「噴火」など、その種類は数多く、原因や注意点も多種多様となっています。また、お住いの地域・地形によって起こりやすい災害も違って来るかと思えます。たとえ小さな被害であったとしても災害そのものへの知識がなければ、事前の対策を立てることも避難も難しくなり、それだけで脅威となりえます。防災のスタート地点は「まずは災害について知ること」として、1歩ずつ取り組んでいくことが重要になってきます。それぞれの災害の特徴やポイントについて簡単にまとめていますので、ぜひ災害について知り、ご家庭でできる防災に少しでも取り組んでいただけたらと思います。

【(集中)豪雨】・・・限られた地域に対して短時間に雨が降ること



- 50 mm以上/時間・・・バケツをひっくり返したような激しい雨で、排水が追いつかなくなります。
- 80 mm以上/時間・・・滝のような激しい雨。すぐに洪水が発生し避難が必要となる場合があります。
- 100 mm以上/時間・・・生命に危険を及ぼすほどの猛烈な雨です。地下街の浸水や家屋への被害が発生する恐れがあります。

河川氾濫や浸水、山崩れや地すべりなどの災害を巻き起こす危険性もあります。



Point 排水溝や溝を掃除し、雨水がスムーズに流れるようにしておきましょう。建物の出入りに土のうを置くことも効果的です。

【土砂災害】・・・山やがけが崩れたり、崩れた土砂が雨水や川の水と混ざって流れてくる



土砂災害の前兆現象の例

- 土石流・・・山鳴りがする、急に川が濁り流木が混ざっている、腐った土の臭いがする
- 地すべり・・・地面にひび割れができる、斜面から水がふき出す、家や擁壁に亀裂が入る
- がけ崩れ・・・崖に割れ目が見える、崖から水が湧き出ている、崖から木の根が切れる音がする

雨が止んだ後も、地盤が緩んでいる可能性があるため、注意しましょう。



Point 前兆現象はあくまでも例であり、早めの避難を心がけましょう。ハザードマップで住まいの地形を確認してみてもよいですね。

【地震】・・・プレートにかかる様々な歪みが急激な変形によって解消される際に起こる断層の動き

家庭でできる備え



- 迅速な避難・・・ハザードマップの確認、避難場所・経路の確認、非常持出品の準備
- 室内の対策・・・窓ガラスの飛散防止、本棚類の転倒防止、ベッド頭上に物を置かない
- 地震発生後の避難生活に向けて
備蓄を多めに確保、簡易トイレを用意、予備のバッテリーを準備・充電しておく

地震後の2次災害（津波・火事等）についても注意をしましょう。



Point 非常食などの備蓄や、避難経路の確認など今からできることがたくさんあります。少しずつ今から、対策を行いましょう。

本校の取組み

～地震避難訓練～



一次避難

ふれあい広場や中庭、運動場などに避難



二次避難

児童生徒の実態に応じてグループでの屋内への避難

11月に地震を想定した避難訓練を行いました。地震の場合は、一時避難として屋外に避難を行うため、学部や活動場所によって避難場所が異なったり、落下物等があり通ることができない通路がある中で、職員間で意思疎通を図りながら、より近くより安全な屋外の場所にスムーズに避難をすることができていました。生徒たちも、緊急地震速報がなると、すぐに頭を守る様子が見られ、避難時もしっかり頭を守りながら、落ち着いて避難をすることができていました。また今回の訓練は、療育センターとも連携し、センター生については実際に帰所をしたり、医療的ケア生がセンター食堂に避難をしたりすることもできました。訓練終了後には、療育センターの職員の方々とも反省会を行うことができ、今後の改善点や共通理解事項の確認をすることができ、非常に有意義な訓練を行うことができたと思います。



～火災避難訓練～



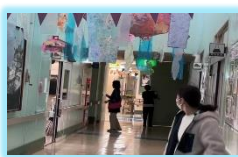
1月に火災を想定した避難訓練を行いました。当日は、宮崎南消防署から2名の消防士の方が来校し訓練の様子を見て講評をいただいたり、消火器の使い方について実践を踏まえて教えていただきました。児童生徒のほとんどが、ハンカチ等で口を覆ったり、姿勢を低くしながら避難することができており、それぞれの災害に応じた、避難方法をしっかり理解できていることにとっても感心させられました。またとても寒い時期の訓練でしたので、実際にこの時期に屋外に避難することになったら...と、いろいろなことを考えさせられるよい機会になりました。



初期消火(消火器)



初期消火(消火栓)



防火扉準備



消火器体験①



消火器体験②



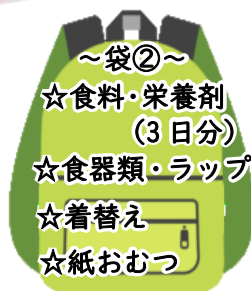
非常持ち出し袋について



～袋①～

- ☆水 500ml
- ☆薬 3日分
- ☆ヘルメット (防災頭巾)
- ☆医ケア用物品

非常持ち出し袋の準備等ありがとうございます。年度末に持ち帰りますので、休業中に中身の確認をお願いします。併せて、緊急時に持ち運びがしやすいように、左右のイラストのようにバッグの仕分けもよろしくをお願いします！



～袋②～

- ☆食料・栄養剤 (3日分)
- ☆食器類・ラップ
- ☆着替え
- ☆紙おむつ

防災の豆知識

『重ねるハザードマップ』災害リスク情報や防災に役立つ情報を、全国どこでも重ねて閲覧できる Web 地図サイトです。ある地点の自然災害リスクをまとめて調べることができます。ぜひお住いの地域を調べてみてください

